

行政事業レビューシート (総務省)						
予算事業名	生産性向上のためのICT共通基盤整備		事業開始年度	平成20年度		作成責任者
担当部局庁	情報流通行政局		担当課室	情報流通振興課		課長 安藤 英作
会計区分	一般会計		上位政策	情報通信技術高度利活用推進費		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条第65号		関係する計画、通知等	経済財政改革の基本方針2008		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国は世界最先端のブロードバンド基盤を実現しているが、労働生産性をみると他の主要先進国とは大きな差があり、特にサービス産業や中小企業においては、ICTにより生産性を向上させることが求められている。このように、我が国経済の成長力強化が喫緊の課題となる中、ICT利用による生産性向上のため、ASP・SaaS事業者や利用事業者等の参加の下、生産性向上のためのICT共通基盤整備に向けた実証研究を実施。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ICT利用による生産性向上のため、ASP・SaaS事業者や利用事業者等の参加の下、生産性向上のためのICT共通基盤システムの有効性や整備のための検証を行うとともに、ASP・SaaSの普及促進に関する調査研究を実施。					
実施状況	生産性向上のためのICT共通基盤システムに関する調査研究及びASP・SaaSの普及促進に向けた適用分野拡大に関する調査研究を実施					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)		100	87	0	0
	執行額		92	64		
	執行率		92%	74%		
	総事業費(執行ベース)		92	64		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	生産性向上のためのICT共通基盤システムに関する調査研究については、協議会やデモンストレーションに出席し、調査内容に関する指摘、助言等を行った。 ASP・SaaSの普及促進に向けた適用分野拡大に関する調査研究については、定期的に委員会へ出席し、調査内容に関する指摘、助言等を行った。				
	見直しの余地	平成21年度をもって事業終了				
予算チームの監視・所見率	廃止 (21年度で廃止)					
補記						

総務省
64百万円

我が国経済の成長力強化が喫緊の課題となる中、ICT利用による生産性向上のため、ASP・SaaS事業者や利用事業者等の参加の下、生産性向上のためのICT共通基盤整備に向けた実証研究を実施。

【一般競争入札】 応札数: 1

A.(株)NTTデータ
32百万円

生産性向上のためのICT共通基盤システムに関する調査研究を実施

【一般競争入札】 応札数: 1社

B.NPO法人 ASP・SaaS
インダストリ・コンソーシアム
32百万円

ASP・SaaSの普及促進に向けた適用分野拡大に関する調査研究を実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.(株)NTTデータ			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
開発費	SaaSベンダ、SaaSユーザ、サブライヤ登録機能開発	18			
	POSレジ-販売管理、勤怠-給与汎用インターフェイス開発				
	購買-販売管理用インターフェイス開発、各種コードマッチング作業、共通機能				
人件費	研究員	13			
計		31	計		0
B.NPO法人 ASP・SaaSインダストリ・コンソーシアム			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	研究員	25			
物件費	委員謝金、印刷費	4			
管理費	一般管理費	3			
計		32	計		0
C.			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・用途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者につ
 いて記載する。
 用途と費目の
 双方で実情が
 分かるように
 記載)

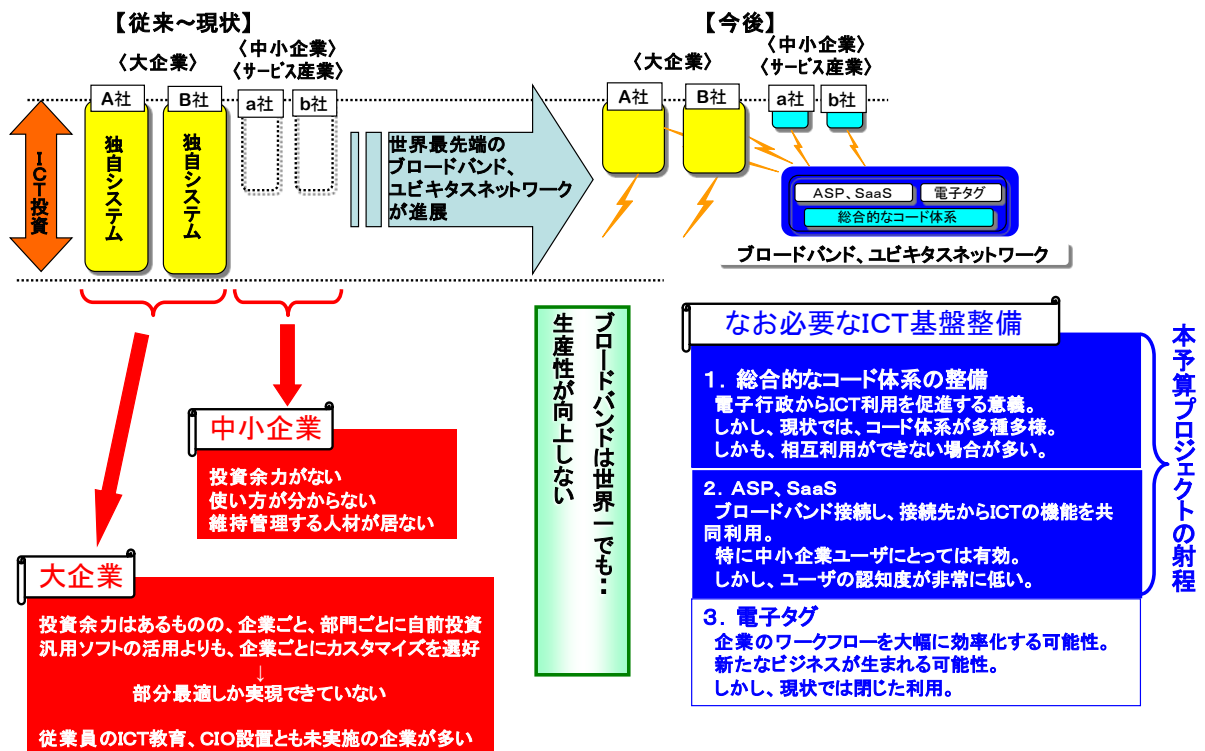
生産性向上のためのICT共通基盤整備

我が国経済の成長力強化が喫緊の課題となる中、ICT利用による生産性向上のため、この共通基盤となるネットワークの回線認証機能を活用した総合的なコード体系実現のための実証研究、ASP・SaaS普及のための実証研究を実施する。

1 施策の概要

我が国経済の成長力強化が喫緊の課題となる中、ICT利用による生産性向上のため、通信事業者、ASP・SaaS事業者、利用事業者等の参加の下、ネットワークの回線認証機能を活用した総合的なコード体系実現に向けて、実証研究を実施し、その有効性や整備のための課題の検証を行い、具体的なコード体系案を作成するとともに、ASP・SaaS普及のための実証研究を実施する。

2 イメージ図



3 施策の開始年度

平成20年度